

映画を通じてチェコの歴史と文化を学ぶ

映画上映と特別講義

映画『死体焼却人』(1969年、チェコスロヴァキア映画)全編上映 96分

<英語字幕(日本語字幕はついていませんので予めご諒承ください)>

解説: ペトル・ホリー氏(チェコ共和国大使館内チェコセンター所長)

阿部賢一氏(立教大学文学部准教授、チェコ文学研究者)

「『死体焼却人』とその原作者ラディスラフ・フクスについて」

日時 2011年6月24日(金)

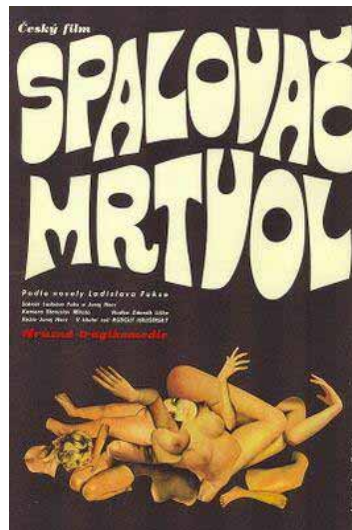
午後4時~午後6時30分 (開場午後3時30分)

場所 東京大学(本郷キャンパス)

法文2号館2階1番大教室

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

*事前登録・予約は不要です。入場無料。定員220名。満席の場合は立ち見をお願いする
場合もありますので、予めご諒承ください。



『死体焼却人』 *Spalovač mrtvol* はチェコの作家ラディスラフ・フクス Ladislav Fuks (1923-1994)による同名の原作をもとに、ユライ・ヘルツ Juraj Herz 監督が映画化したもので、チェコ映画のヌーヴェル・ヴァーグの代表的な作品として国際的に高く評価されています。1930年代のプラハを舞台とし、ショッキングな題材を扱ったこの傑作ホラー・コメディ(日本未公開)

を今回英語字幕で上映するとともに、チェコセンター所長のホリー氏と、チェコ文学研究の気鋭第一人者である阿部賢一氏に解説をしていただき、映画を通じて 20 世紀チェコの歴史と文化を学ぼうという趣旨の特別企画です。

このイベントは東京大学大学院人文社会系研究科スラヴ語スラヴ文学大学院演習「スラヴ文学研究へのアプローチ」および文学部現代文芸論研究室「チェコの言語と文化」の一環として行なわれるものですが、専門的関心をお持ちの皆様のご来聴を歓迎します。

問い合わせ先

東京大学人文社会系研究科・文学部スラヴ語スラヴ文学研究室 / 現代文芸論研究室

電話 03(5841)3847 または 03(5841)7955

交通 地下鉄丸ノ内線・大江戸線「本郷 3 丁目」、南北線「東大前」、千代田線「根津」など下車、いずれも徒歩 10 分程度

東大構内案内図 http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_01_02_j.html

東大本郷へのアクセス http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html

法文 2 号館への案内図

(一番大教室へは、建物中央のアーケード内のガラス戸から入って、2 階に上ってください)

